

Jans38

JANS和文誌編集委員会 交流集会



より良い論文にしていくために
—あらためてJANS和文誌査読ガイドライン
を読み解く—

公益社団法人日本看護科学学会 和文誌編集委員長
(甲南女子大学看護リハビリテーション学部)

秋元 典子

日本看護科学学会 COI 開示

筆頭者氏名 秋元典子

所属名 甲南女子大学

- 筆頭演者は日本看護科学学会へのCOI自己申告を完了しています。
演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業・組織および団体等はありません。

本日の内容



- 交流集会企画の背景
- 査読の基本方針を読み解く
- 査読基準を読み解く
- まとめ：査読者としての留意点

本日の内容



- 交流集会企画の背景
- JANS和文誌 査読の基本方針を読み解く
- 査読基準を読み解く
- まとめ：査読者としての留意点

交流集会企画の背景



- JANS37（於：仙台）和文誌編集委員会企画交流集会のアンケートの結果**査読そのものについて取り上げてほしい**という意見が複数名から寄せられた。
- **採択率が低い（約22%）現実がある。**
その原因はさまざまあるだろうが、査読のあり方が影響しているかもしれないので、JANS和文誌査読ガイドラインをあらためて**読み解き（読んで理解を深める）**、査読本来の役目を再確認したほうが良いと編集委員会が判断した。



本日の内容



- 交流集会企画の背景
- 査読の基本方針を読み解く
- 査読基準を読み解く
- まとめ：査読者としての留意点

査読の基本方針を読み解く (1/18)



JANS和文誌における査読 (peer review) の定義

- **本学会において**査読とは、看護学の学術的発展および看護実践の発展的進化のために、その志を同じくする研究者同士が、相互の研鑽を目的として、お互いの研究を吟味評価しあうこと

査読の基本方針を読み解く (2/18)

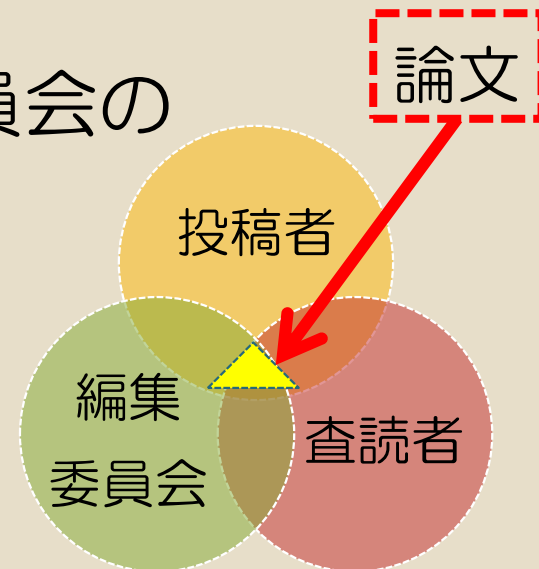


- **本学会において**査読とは、看護学の学術的発展および看護実践の発展的進化のために、その**志を同じくする研究者同士が**、**相互の研鑽を目的**として、お互いの研究を吟味評価しあうこと



査読とは、著者と査読者と編集委員会の協働によってよりよい論文を生み出していく過程

学術誌のレベル低下防御システム



査読の基本方針を読み解く (3/18)



- 本来査読とは、論文の採否を決めるために**審査**することである。

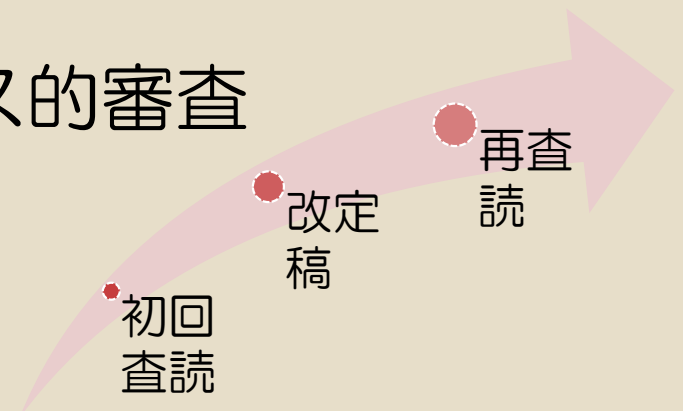


- JANS和文誌編集委員会では**審査にとどまらず**、著者と査読者と編集委員会の**協働**によってよりよい論文を生み出していく**過程**をとらえている。

査読の基本方針を読み解く (4/18)



- 初回審査だけで終了する場合もあれば査読者と著者との書面上での議論を経て最終審査結果が出る場合もある。
- つまり時間経過を伴うプロセス的審査



査読の基本方針を読み解く (5/18)



査読の基本方針

①本誌は、看護学の学術的発展および看護実践の発展的進化に資する学術活動の発表の場として位置付けられます。査読はこの立場から、論文の種類に鑑み、新規性、創造性、重要性、有用性の観点で論文の意義を評価します。



論文の種類、新規性、創造性、重要性、有用性

査読の基本方針を読み解く (6/18)



【論文の種類】

- 総説
- 原著論文
- 短報
- 論壇
- 資料
- その他

著者が決定して投稿
査読期間中変更しない

査読の基本方針を読み解く (7/18)



【新規性】

- 看護学としての新しい知見を有しているか



国内外の先行研究レビューが不可欠であることを意味している

すでに分かっていること、すでに発表されていること、
すでに知られていることから容易に思いつくこと、
どこが新しいのかわからない ⇒ 新規性ありとは言えない

査読の基本方針を読み解く (8/18)



【創造性】

- 看護学を発展させる 新たな可能性を切り開いているか



「この研究によって新たにできるようになることとはどのようなことか？」
と読み替えてみる。

「本研究の研究目的が達成されたあと、さらに先へ
と行くことができるか？」
と読み替えてみる。

査読の基本方針を読み解く (9/18)



【重要性】

- 看護学としての重要な知見を有しているか



重要：物事の根本・本質に大きくかかわること
きわめて大切であること

なぜ看護学領域での研究として行う必要があるのか
明記されていることが不可欠

査読の基本方針を読み解く (10/18)



【有用性】

- 看護実践を改善・進展させるために有用か



実用性・意義

実践にどう還元できるかが記述されている。
読み手の参考になる。

査読の基本方針を読み解く (11/18)



査読の基本方針

②看護学および看護学研究者の発展を支援する立場から、査読は批判的であるよりも建設的であることを旨とします。課題を指摘する場合には代替案を示し、論文が改善され、投稿者がより成長できるよう支援します。



代替案を示す

査読の基本方針を読み解く (12/18)



【代替案提示の一例（秋元が書いた実例）】

上記コメントに対して、修正に取り組まれていることはわかりましたが、トートロジーになっていることが気になります。つまり定義しようとしている用語を用いて定義されていることです。これでは定義になりません。

トートロジーにならず、サブカテゴリーを反映させた形での定義の一例をお示ししてみます。参考になさってください。

ゴシック・斜字体で一部のみ【修正例】を書きますので、すべてのカテゴリについて再検討してください。

【修正例】

★【カテゴリ名】

このカテゴリは.....を示しており,

査読の基本方針を読み解く (13/18)



- 修正事項がある場合は、具体的にページ、行などを示し、どこを、どのように、なぜ修正するかを記載する

査読の基本方針を読み解く (14/18)



査読の基本方針

③研究方法の使い方や論文の書き方が未熟であっても、看護学としての意義が高く評価できる場合には、なるべく採用の方針で査読を行い、看護学としての意義がなるべく正當に理解・吟味できる論文となるように支援します。



とはいえ、

論文の体裁をなしていない場合は掲載できない

査読の基本方針を読み解く (15/18)



【論文の体裁】

- 投稿規程に沿って書かれている
- 研究題目：論文の内容を反映している
- 文章表現がわかりやすく内容が明瞭で、完成度が高い
- 英文抄録の内容や表現が妥当である。日本文と英文の要旨が整合している。
- 論旨に一貫性がある（使用する概念、定義、論旨、記述の統一）
- 研究背景、目的、方法、結果、考察、結論が明瞭に記載されている。

査読の基本方針を読み解く (16/18)



査読の基本方針

④看護学の学問領域には、多様な研究パラダイムや研究方法を用いるという特徴があります。査読はあくまでも**相互研鑽の機会**であることを踏まえ、査読にあたっては、投稿者の立場を尊重し、建設的・発展的にコメントします。



著者が主張したいと考えられる部分を積極的に探しながら読み、この主張が過不足なく読み手に伝わるようにするには、どこをどのように修正すればよいか、あるいは修正しなくてもよいかを筋道立てて文字で書くことを意味しており、査読者にとってもクリティーク能力を培う貴重な学習の機会となる（相互研鑽）。

査読の基本方針を読み解く (17/18)



査読の基本方針

⑤ 査読は客観性、公平性を旨とし、論文の内容が、自身の意見と一致しない、自身の研究と競合する、あるいは相反するなどの理由によって、意見が左右されないように注意します。



査読者の感覚や好みではなく、なぜそれを修正する必要があるのかを、
投稿者が納得できるよう筋道立てて理論的に説明する

査読の基本方針を読み解く (18/18)



- 著者が理解できる文章で書く
- 著者の人格や知的独立性に十分な敬意を払う
- 著者の人格や知的独立性を軽視しているのではないかと思わせるような記述を避ける

本日の内容



- 交流集会企画の背景
- JANS和文誌 査読の基本方針を読み解く
- 査読基準を読み解く
- まとめ：査読者としての留意点

前提



- 優れた点と課題の両方を指摘する
- 論文種別は投稿者の希望にしたがい変更しない

査読基準を読み解く (1/5)



【厳密性】

- 研究目的：明らかにしようとしていることが明確にされている
- 研究方法：研究目的に沿っている

査読基準を読み解く (2/5)



【厳密性】

- 方法
- 分析方法：データの処理方法が明示されており、研究課題に即している（BIGネームは不可欠ではない）
- ～を参考にとという記述

査読基準を読み解く (3/5)



結果

- データの分析に もとづいており、研究目的にそった内容である
- 図表の使い方が適切であり、適切なタイトルが適切な位置に示されている
- 分析方法と結果の示し方が一致している
- 順序立ててわかりやすく説明されている

査読基準を読み解く (4/5)



考察

- 得られた結果に対する考察である。
- 研究仮説（がある場合）と結果との関連が述べられている
- 結果に対する妥当な解釈である
- 先行研究の結果との適切な比較がある
- 結果（データに基づく事実）と考察（解釈）が明確に分けて記述されている
- 考察に飛躍がない（結果に基づく考察になっているか）
- 研究の限界や将来の研究への示唆について述べられている

査読基準を読み解く (5/5)



倫理

- 倫理的問題はない
- 研究倫理審査を受ける
- データ収集施設の倫理審査
- **倫理的配慮**がなされている（ここ一点だけで**否**としてよい）基本的に修正できない

本日の内容



- 交流集会企画の背景
- JANS和文誌 査読の基本方針を読み解く
- 査読基準を読み解く
- まとめ：査読者としての留意点

査読者としての留意点（1/4）



- 一般的には、Major commentsとMinor commentsに分けて書く
- Major commentsとは、この論文を採用するには、どうしてもここをクリアしなければならないという重要なコメント
- Minor commentsとは、タイプミスや脱字などの指摘、図の書き方やタイトルの位置の修正、数式の細かいミスやなどの指摘

査読者としての留意点 (2/4)



- 基本的には断らない
- 守秘義務が生じる
- 他に利用しない
- 回答期限を守る（守れない場合には編集委員会へ一報）
- 誤字脱字のないように
- 査読意見書に不用意に査読者氏名を書かない

査読者としての留意点 (3/4)



- 未発表の論文を、誰よりも先に読ませていただけることへの感謝の気持ちで
- 不足箇所を探すというのではなく、より良い論文にしていくために指摘する
- 自分も研究者の一人であり、査読する側と査読される側は表裏一体
- 投稿者の立場に立って

査読者としての留意点（4/4）



- 査読は、全くの無報酬で多大なる時間を費やして取り組む役割遂行（ボランティア）である
- しかし、査読者の業績の1つになることは査読者にとってのインセンティブ（incentive）にもなる

付記：査読を受けるとき



- すべてに答えること
- 誠実に答えること
- 根拠とともに答えること

付記：査読を受けるとき



- 感情的にならない
- 投稿したからには覚悟を決める
- 査読者の指摘に同意できる事項にはできる限り修正する
- 修正しない場合は根拠とともに説明する
- 編集委員会とは争わない,十分に説明する
- 査読者も知らないことがある

まとめ (1/2)



- 査読 (peer review) とは著者と査読者と編集委員会の協働によってよりよい論文を生み出していく過程

まとめ (2/2)



- 査読ガイドラインに沿って、
著者の立場に立った査読を
お願いします！



ご清聴ありがとうございます
ございました